

# 六畳間には侵略者の

置き場がない!

R18  
ADULT ONLY



本書は  
六畳間の侵略者!?!の  
それぞれ別のエンドとも  
ハーレムエンドともとれる  
内容になっています。

若干のネタばれも  
含まれますので  
ご注意ください。





「まったく…こんな「腫」だすとほ…」

呆れた口調のキリハが足をあげると、彼女の桃色の割れ目からは白濁液が「ぽ」「ぽ」とあふれだしてきた。

「返す言葉もない…」

自らの行いを反省し、肩を落とす孝太郎  
さすがにやりすぎたと自分でもわかっているのだ。

「ぶふっ…汝にはきちんと責任をとってもらわねばいけないようだな…」

しかし、小声で囁かれた言葉に顔をあげた孝太郎の目には、  
悪戯っ子のような表情のキリハが微笑んでいたのだった。



(ああ…コータローがいやらしい顔をしておる…  
もっともっと気持ち良くなってくれ、コータロー…)

(んぐう…ま、また口の中でたぐさんだしお…  
コータローのばかものお…)

「うっ…くはあ…」

硬く、熱くそそりたつ自分自身の分身をティアに丹念に舐められ、孝太郎の口からは思わず声もれだしていった。

普段は強気のティアが、このときばかりはその大きな目をうっすらとうるませ、上目遣いに見つめてくる。最近の孝太郎はこの顔のティアを見ていると、言い知れない快感によってぞくぞくと背中が震えることが多くなっていた。

「ティ、ティア…だすぞ…！」

ティアの顔をぐっと押さえつけ、その小さな口に自らの子種をどくどくと注ぎ込んでいく。初めの頃はすぐに吐き出してしまっていたティア。しかし、今ではのどをこくこくと鳴らし、うっとりとした顔で大半の白濁液を飲み込めるまでになった。

一国の皇女であるティアが孝太郎だけに見せる特別な表情、特別な行動。その事実を確認すると、孝太郎の分身はまたむくむくとそそり立ってしまうのだった。

(サトミ様のおちんぽからいつもより濃いおつゆがどじんできています…  
はああ…♡おなかの奥がきゅんきゅんしてしまいます…)

「も、もっといやらしく舐めるのですか…?」  
わ、わかりました。サトミ様が、そう、お望みなのでしたら…♡

「なあ、ルースさん」

「ふあい…?」

孝太郎の呼びかけに顔をあげるルース。  
彼女の艶かしい舌先から落ちる一筋の光が、孝太郎の内なる欲望を更にかき立てていく。

「もっと…いやらしく舐められないか…?」

孝太郎の大胆な要求に少し頬を赤らめつつ、ルースは静かに頷くのであった。



「あんっーひぐっーやんっーきゃんっー！そ、そんなにーばんばんーしないれえー孝太郎おー！」

言葉では抵抗を見せている早苗だが、とろんとした表情はそれが口先だけであることを物語っていた。初めのころは「痛い」とすぐに苦悶の表情を浮かべてしまっていた早苗だったが、

身体が慣れ始めると積極的に交わりを求めてきた。気がつけば、「両手をお守りして縛る」という少し変わったプレイを望まれているのだから、経験というものは恐ろしい。早苗の柔らかな肢体を思う存分堪能できるのだから、孝太郎としては不満はないのだけれど。

「ひぐうううっ♡まもちいらっーまもちいらよお♡うたるおー  
こうたるうのおちんちんでえ♡ばんばんしゃれちやうのお♡  
らあいしゆきなんらよお♡♡」

早苗のことだ。まっとうな新し「こと」をしてみたくなるんだろう。  
緊縛の次はどんなやり方をすれば、早苗は喜んでくれるのか。  
彼女の嬌声を聞きながら、孝太郎は思いを馳せてしまっていた。





## あとがき

こんにちは。ながねこです。

今日は締め切り最終日です。テレビ関係の回線の工事が入ってます。でもそれくらいで作業を止めることはできないので描いていたのですが、どうしても掃除機くらいはかけたいと掃除していたら、画面がきギリハさんのおっぱいのドアップの状態で放置していたらしく、掃除の終わりかけにいらした作業の方がそのまま画面の目の前を通るという危機的アクシデントが発生してしまいました。なぜ休止状態にしておかなかった私！描いても楽しんでてもアウト…男の作業員の方で良かったのかな？いや、良くないか。見られてない事を祈ります。

だいぶタイトな作業日程のなか、不思議なことになぜか右ひざが腫れてきてしまって、神様に「無駄に動かず、ただひたすら描け」と言われてるような気がしました。今はほぼ完治しました。

さてさて、今回のイラスト集はだいぶ短期間で作ったので、ページ数が少なくなっていました。できる限りのクオリティで頑張ってみました。

イラスト一枚でえっちら満載にするのは大変ですが、遅筆なので漫画に比べて描き込む時間がとれるのはありがたいです。今回のイラストは試しで描き方を色々変えてみたのでちょっと統一感なくなっちゃったかな？

タイトルは原作者リスペクトでどうしてもこのタイトルにしたいくて、内容とあんまり関係なくなっていました。(ティアの衣装なんか完全に趣味です)そこで、いつもシナリオや文章を担当してくれてるサークルメンバーに設定考えてもらったり、今回の文章も書いてもらいました。本人の希望で名前はいつも載せてませんが、影で支えてもらってます。

今回はおかげさまでなんとか新刊2冊出来上がりました。(出せてるよね?)

もっと描く枚数を増やして安定と技術向上したいです。でもとりあえずこの本が上がったら数日間はマンガ読んだり、やたら手の込んだ料理を作ったり、実家の猫にセクハラしに行ったり、惰眠を食ったりしたいです。

ではでは、またお会いできるのを祈りつつ。

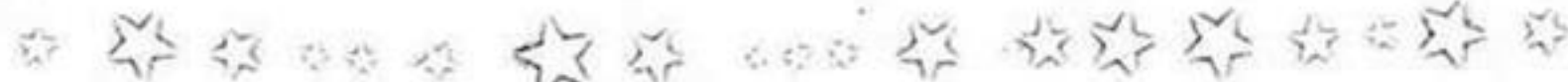
2014/08/17 ながねこ



ユリカには居場所がない

### 奥付

★ 発行日 2014/08/17  
★ 発行元 ゆきしずく  
★ 発行者 ながねこ  
★ 印刷 株ポプルス様  
★ mail naganecko0630@gmail.com  
★ web <http://yukisizuku.sakura.ne.jp/index.html>



六畳間には侵略者の  
置き場がない!

ゆきしずく   
yukisizuku

